

1年生が異文化理解講座で、那珂市等在住の外国人の方々と交流

12月4日(水)7時間目(LHR)に、那珂市国際交流協会の協力で、1年生を対象に、異文化理解講座を実施しました。那珂市及び近隣市町村に在住する外国人4名の方に講師として来校していただきました。

講師の出身国は、ドイツ、中国、イギリス、マレーシアで、出身国の国旗、国歌、文化、歴史、産業などについて、写真や動画を使用して、発表15分程度、質疑応答5分程度で、紹介していただきました。

1年1・2組がドイツ、中国、1年3・4組がイギリス、マレーシアについて説明を聞きました。

講師の方々は、説明がとてもうまく、生徒たちは、その国の言語(あいさつなど)、食べ物、衣装、自然などについて理解を深めて、海外へ向けて視野を広げることができたようでした。

那珂高校は、「国際理解教育の推進」を教育の柱の一つにしています。日々の授業や国際理解教育に関する取り組みを通して、グローバルな視点を持ち、多文化共生の地域社会を創造する人材の育成に努めていきます。

表：講師による出身国の紹介

国名	主な説明
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> ・フォルクスワーゲン、アウディ、ポルシェ、メルセデス・ベンツ、BMWなど自動車メーカーが多い。 ・ドイツのタクシーは、ベンツ車が多い。 ・ベンツは、日本では高級車に分類されるが、ドイツではやや高級車に分類される。 ・高速道路の約70%の区間が速度無制限で、朝方は車が少なく、猛スピードで走る運転手がいる。
中国	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の漢字と同じ字で、違う意味の中国語があり、来日当初は苦労した。 ・中国では、手紙はトイレトペーパー、娘はお母さん、麻雀は、すずめの意味になる。 ・上海、成都などの都市の発展が急激に進んでいる(動画で紹介)。 ・都市部の道路が複雑で、カーナビを使っても目的地に到着できないことがある。
イギリス	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスでは、「All right, mate?」のあいさつが大切。目上の人にも使う。イギリス英語は「t」は発音しなく「オーライ、メイ」となる。日本人が駐車時に言う「オーライ、オーライ」と同じ。 ・日本の「納豆」と同じで、その国の伝統的な食べ物だが苦手な人がいる食べものがイギリスにもある。リコリス(liquorice)というお菓子で、駄菓子屋、スーパーなどで売っている。イギリス人の約8割が、苦手だと思う。
マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> ・マレー文化、中国文化、ヒンドゥー文化といった多様な文化が共存する多民族国家。 ・海や山など自然がきれいで、日本人がロングステイ、移住したい国の上位に毎年選ばれている。 ・マレーシア語が国語、英語が第二言語。マレーシア語より英語の方が使われる。タミール語、中国語もよく使われる。講師の方は、マレーシア語、日本語、中国語、英語、フランス語を話せるようだ。 ・マレー系の料理(NASI LEMAK、SATAYなど)、中華系の料理、自然、観光地などを写真で紹介。 ・日本に来て感じたことは、治安がよい。礼儀・行儀がよい。コンビニや自動販売機が多いなど。



ドイツの高速道路(動画で説明)



日本の漢字と中国語の比較



中国の小学校で使用する教科書を見せていただきました。



イギリスの伝統的な食べ物など



マレーシア語の紹介



マレーシア語であいさつの練習